

2023 年度
事業報告

自 2023 年 4 月 1 日
至 2024 年 3 月 31 日

一般社団法人 保険者機能を推進する会

I 一般社団法人保険者機能を推進する会の概況

1. 設立年月日

2001年5月10日(法人登記 2010年12月22日)

2. 定款に定める目的

保険者機能の原点は、被保険者・被扶養者のために、

- ・ 良質な医療を確保する
- ・ 保険料を効率的に活用する
- ・ 保健事業に代表される健康づくりを推進する

ことにあり、この実施・実現が保険者の使命である。

本会は、保険者自身が集い、参画し、この保険者の使命の実施・実現のため、保険者機能の研究とその具体的方策の実行を目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- ① 保険者機能に関わる各種調査・研究等
- ② 組合健保の役職員に必要な知識、スキル、モラル向上のための研修等
- ③ 公的医療保険の制度上または運営上の改善、改革を要請する活動等
- ④ 保険者機能を効果的、効率的に発揮するための会員健保組合間並びに関係団体等を含めた連携および共同事業の推進
- ⑤ その他、定款に定める目的を達成するために必要な事業

4. 会員の状況

種 類	2024年3月末	2023年3月末	増 減
正 会 員	109 組合	109 組合	増減なし
準 会 員	1 団体	1 団体	増減なし

5. 事務所の状況

主たる事務所：東京都千代田区神田北乗物町 11 番地 乗物町第一ビル 4 階

電話番号 03-5577-5411 FAX 03-5577-5413

E-mail hokensha@kino-suishin.org

ホームページ <https://www.kino-suishin.org/>

6. 役員等に関する事項 (2024年3月31日現在)

役 職		氏 名	常勤・非常勤	現 職
会長	代表理事	藤代 勉	非常勤	三菱健康保険組合 理事長
副会長	代表理事	篠原 正泰	非常勤	富士フイルムグループ健康保険組合 常務理事
副会長	理事	小川 佳政	非常勤	ファイザー健康保険組合 常務理事
副会長	理事	木村(沼越) 園子	非常勤	日本ヒューレット・パッカート健康保険組合 常務理事
副会長	理事	小宗 邦彦	非常勤	MSD健康保険組合 常務理事
	理事	飯島 一彦	非常勤	鷺宮健康保険組合 常務理事
	理事	井坂 徳雄	非常勤	C&Rグループ健康保険組合 常務理事
	理事	海宝 和養	非常勤	アクセンチュア健康保険組合 常務理事
	理事	北川 豊	非常勤	パナソニック健康保険組合 常務理事
	理事	宮川 昌佳	非常勤	東京海上日動健康保険組合 常務理事
	理事	若林 国弘	非常勤	三菱電機健康保険組合 常務理事
	監事	大貫 益枝	非常勤	三越伊勢丹健康保険組合 常務理事

(注1) 2023年度中に就任した理事及び監事

2023年6月22日開催の第26回定時社員総会において、新たに海宝 和養氏が理事に、大橋 弘明氏が監事にそれぞれ就任しました。また、2023年9月27日開催の第1回臨時社員総会において、篠原 正泰氏が代表理事に就任しました。

(注2) 2023年度中に退任した理事及び監事

退任日	氏 名	退任時の役職
2023年6月22日	秋山 実	代表理事会長 日本航空健康保険組合
2023年9月27日	鳥潟 美夏子	代表理事副会長 マクドナルド健康保険組合 常務理事
2024年3月31日	内田 好宣	理事 日立健康保険組合 常務理事
2024年3月31日	大橋 弘明	監事 ヤマハ健康保険組合 常務理事

(注3)特別顧問の委嘱

理事会の議決を得て委嘱された特別顧問が在任中です。

- 特別顧問 武田 節夫 (初代事務局長)
- 特別顧問 徳永 一夫 (第 5 代会長)
- 特別顧問 小玉 道雄 (第 6 代会長)
- 特別顧問 飯住 宗広 (第 7 代会長)
- 特別顧問 秋山 実 (第 8 代会長)

7. 職員に関する事項

職員数	職 種	勤続年数
1 名	事務局長	9 年
1 名	参与	1 年

II 事業の状況

1. 事業の実施状況

(1)事業の概況

新型コロナウイルス感染症が 5 月 8 日に感染症法上の 5 類に移行され、マスクの着用などの感染対策も基本的に個人の判断に委ねられました。引き続きコロナ感染への警戒を持ちつつも、社会全体がコロナ禍以前に戻った 1 年になりました。そのような状況下、2023 年度は、研究会をはじめとする各種事業は、対面とオンラインを併用しながら、コロナ禍以前のように積極的な活動を行ってまいりました。11 月の保険者機能推進全国大会においても昨年引き続き、会場とオンラインのハイブリッド形式による開催を行い、成功裏に終了することができました。

(2)会員数の動向

会員数は 2022 年度末には 109 健保組合でしたが、2023 年度中に 3 健保組合が加入し、3 健保組合が退会した結果、2023 年度末の会員数は 109 健保組合となり、昨年度末との比較で増減はありませんでした。準会員も 1 団体で増減はありませんでした。

(3)財務状況

2023 年度の正味財産合計は、前年度から 197,528 円増加し、17,239,618 円となりましたが、これは会費収入の 107.8%に相当します。また、正味財産のうち、現金預金は前年度から 14,248 円増加し、16,161,328 円となり、会費収入の 101.3%に相当します。これらの増加につ

いては、全国大会の参加費を会員参加者の皆さまにご負担いただいたことによる一般事業収入の増加が寄与しております。しかしながら、全国大会の事後アンケートでは、会員参加者のご負担に関して、様々なご意見をいただいたことから、2024 年度からは会員参加費を無料とすることにいたしました。

経常収益は、前年度から 1,726,525 円増加し、17,506,799 円となり、経常費用は、前年度から 3,666,854 円増加し、17,239,271 円となりました。経常費用のうち、事業活動費は、コロナ禍が明け、総会や全国大会の参加者が増加したことや研究会活動の本格化などにより、前年度から 1,909,786 円増加し、合計 5,187,513 円となりました。管理費は、事務局業務量の急増への対処やハイブリッド開催にともなうオンライン環境の充実化により、前年度から 1,757,068 円増加し、合計 12,051,758 円となりました。

新型コロナウイルス感染症による活動抑制で生じた繰越金により、今後 2 年程度は財政面では問題がありませんが、それ以降は、会としての諸活動の継続と充実を考慮した場合、会費の見直しが必要となってくる可能性があります。何卒ご理解をお願いいたします。

(4) 研究会活動

2023 年度は、前年度同様、レセプト・健診データ分析研究会、健診事業のあり方研究会、特定保健指導応用研究会、女性の健康研究会、シニアの健康研究会、たばこ対策研究会、療養費適正化研究会、扶養認定基準研究会の 8 研究会が設置されました。対面での活動が活発化すると同時に、オンラインでの活動や、オンラインの利点も活かしたハイブリッドでの活動も行われております。研究会の特性や取り扱うテーマによって開催方法や活動手段の選択肢が増え、参加者にとっての利便性向上につながりました。

◎レセプト・健診データ分析研究会

全参加健保でおこなう「全体テーマ」では直近 5 年連続加入者の特定健診結果データによる「独自健康分布図」作成や、新たに開発した「特定保健指導効果分析ツール」の提供をおこないました。自健保の立ち位置や各健保組合からの分析結果の集約を行い、「見える化」によって要改善方向(方法)のポイントを共有しました。その他、各参加者が関心を持つテーマの深掘り研究をおこなう「グループワーク」では、「特保効果分析」「問診分析」「歯科分析」「基礎知識を学ぼう」の 4 テーマを実施しました。

昨年度に引き続き東京大学の古井祐司先生、井出博生先生、後藤英子先生から様々なレクチャーやご指導をいただいております。その活動の成果は『へるすあっぷ 21』(法研)に掲載されることになりました。また、12 月には「特定保健指導効果分析ツール」及び 2023 年度の分析状況に関して、井出先生とともに厚生労働省保険課や社会保険審査支払基金に説明を行いました。

◎健診事業のあり方研究会

2022 年度まではがん検診にフォーカスして取り組んできましたが、2023 年度は参加者へのア

ンケート結果から、がん検診に加え特定健診もテーマに加えました。これにより、参加健保のニーズにより幅広く応えることができるようになりました。

がん検診については、がん検診精度管理アンケートの分析を中心に活動しました。これにより、参加健保の状況を把握し、各健保が直面する課題を明らかにしました。また、国立がん研究センターの高橋先生のアドバイスを受けながら、参加者の知識向上にも努めました。さらに、厚生労働省健康局がん・疾病対策課との2回にわたる議論を通じて、研究会として職域におけるがん検診の課題についての意見を共有しました。

特定健診については、参加健保の共通課題として被扶養者の受診率向上が挙げられました。この課題に対応するため、各健保の取り組み状況を取りまとめ、事例発表を行いました。これにより、各健保が他の成功事例を参考にし、自らの取り組みに反映できるよう取り組みました。2023年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを契機として、これまでのオンライン開催からハイブリッド開催に変更しました。この変更により、対面開催のメリットである参加者同士の会話から生まれるちょっとした気づきが好評でした。対面とオンラインの双方の利点を活かした運営により、研究会の質を一層向上させることができました。

◎特定保健指導応用研究会

2023年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、対面での活動が可能となりましたが、研究会ではこれまでのオンライン開催のメリットも活かしつつ、ハイブリッド開催といたしました。昨年度と同様に当研究会の参加者において最も関心の高い「事例紹介」をメインとして、これまでに蓄積されたデータの追加をはかるとともに、参加者にとって情報収集と意見交換の場となるように努めました。具体的な活動成果としては、研究会は毎月計12回開催し、メインの事例紹介は14健保、ミニグループディスカッション3回、アンケート1回、外部業者による講演2社、そして健保連平澤様による講演を行いました。また、昨年同様、欠席者へのフォローとして、各回の様子を公開制限付きYouTubeにて共有しました。さらに、今年是对面ならではの企画として、キリンビール健保さんのご協力のもと、研究会開催時にキリンビール横浜工場の見学会を実施いたしました。これらを通じて、当初目指していた情報収集や意見交換に加え、参加者同士のネットワークがより強くなり、参加者の今後の業務に活かすことができる研究会活動が実施できました。

◎女性の健康研究会

2023年度は、対面とオンラインのハイブリッドにて、全9回を開催いたしました。27健保33名の方にご参加いただき、女性の健康に関する様々な課題とそれに係る健保の抱える課題に応えるべく、以下のような取り組みを行いました。

- ・参加健保の現状を把握するための調査票の実施
- ・女性の健康を推進する担当者の知識向上に向けて、アドバイザーの対馬先生によるご講演
- ・リテラシー向上に向けて、国立成育医療研究センター荒田尚子先生のご講演
- ・女性のがん検診の質と内容の向上に向け、国立がん研究センター高橋宏和先生のご講演
- ・女性の健康課題に関する先進的な取り組みとして Femtech 事業者による情報提供

- ・成功事例から学ぶ、先行して取り組んでいる健保の事例共有
- ・毎回、事前アンケートを実施、参加健保での情報交換の場を提供

◎シニアの健康研究会

2023 年度は 34 健保、36 名が参加、8 回の研究会を開催し次の活動に取り組みました。

- ・シニア層向けの保健事業や自健保での取り組み内容の事例報告と意見交換
- ・高齢者医療制度(納付金・支援金)の学び
- ・シニア層向け健康情報誌「健康かわら版」の共同発行
- ・被扶養者の健診未受診者に対する『生活問診アンケート』の共同実施

保健事業に関する意見交換の中で、シニア層に対してもメタボ対策に偏重した今の健診・指導を改め、ロコモ予防や眼・口腔内の健康施策の実施を図っていく必要性を共有し、今後、「シニア層の QOL 向上に着目した『健診項目の追加』に向けた政策研究」に取り組む方針を固めました。また、1 月の研究会では、当初、健保連の政策責任者を招き、高齢者制度に関する意見交換を予定していましたが、子育て支援金等の動きもあることから、社会保障全体の動向をテーマとし、推進する会全体に参加対象を広げて「健保連本部特別講演会」を開催しました。

◎たばこ対策研究会

職場のたばこ(喫煙)対策の推進を通して「能動喫煙・受動喫煙による健康被害の防止を図ること」「医療費の適正化を図ること」を目的に活動しています。2023 年度の研究会では、参加者への事前アンケートを実施し、可能な限りニーズに即した情報提供およびグループワークを行うよう心掛け、中でもニーズが一番高かった「タフスマーカー対策」については、専門家からのレクチャーを含め、深い情報共有を行うことができました。研究・分析においては、初めての試みとしてレセプト分析業者(IQVIA ソリューションズ ジャパン株式会社)とタイアップし、「喫煙とレセプト・健診・問診結果との関係性分析」を行い、その結果は、日本禁煙科学会の学術総会にて発表を行いました。更に、社会全体における喫煙環境の整備促進による健保・企業への側面支援を目的に、国・自治体・外部研究機関など幅広い「組織・人」との交流機会の創出に向け動き出し、国会議員・医療経済研究機構・経済学専攻オフィス・新聞社との交流を実現させました。

◎療養費適正化研究会

2023 年度も研究会としては継続的に大きく掲げている『療養費の適切な利用』に向けて、メンバー個々の審査・点検のスキルアップを図るための事例交換や外部有識者を呼んでの講演などを行いました。中でも前年度に続き講演いただいた日本臨床整形外科学会の松本先生による「整形外科医から見た柔道整復施術とは Part2」は実務担当者にとっても大変勉強になる内容でした。また広い視野から社会保険制度の課題等について考える甲南大学法学部三谷准教授の講演も社会保険制度の一端を考えるヒントとなりました。また、各健保の月報デ

ータを利用した柔整療養費のデータ比較と分析を行いその内容を全国大会で発表しました。他健保数値との比較により、自健保の立ち位置が把握できるようになりました。今後も関係者と継続的な勉強会を実施していき、療養費に対する知識を身に着けていく研究会として活動いたします。

◎扶養認定基準研究会

2023 年度は班活動(現地参加を 5 班と Web 参加 1 班)を中心として年間 11 回の研究会開催、各回とも研究会参加健保にて判断に迷う事例の提供を受け、班討議を行い結果の共有を行いました。各種通知の解釈として健保連組合サポートグループより『年収の壁』『教示文』についての解釈を講義して頂きました。また全国大会にて担当者が日頃感じている事について『マイナンバーカードと保険証の一体化についての課題』『自営業者の扶養について』『法 3 条と昭和 52 年通知のダブルスタンダードによる現場の混乱』をテーマに提言を纏め発表いたしました。

(5) 保険者機能推進全国大会

「保険者が共創する未来」をテーマに、2023 年 11 月 22 日に 11 回目となる保険者機能推進全国大会を対面、オンラインのハイブリッド形式にて開催しました。そのテーマに基づき、「データ・デジタルが変える日本の医療の未来」という演題にて PwC アドバイザリー合同会社 Deals Strategy 部門ディレクター 西田 雄太氏より基調講演をいただきました。後半は、レセプト・健診データ分析研究会、療養費適正化研究会、扶養認定基準研究会、特定保健指導応用研究会より研究成果の発表を行いました。

(6) 医療保険制度ゼミナール

医療保険制度ゼミナールは、本会の基本機能である「保険者機能を推進する」を念頭に置いて、厚労省・保険者・アカデミア・医療提供・患者・メディア等、医療保険制度を取り巻くステークホルダーに講義をお願いし、それを通じてバランス感を持って発信ができる保険者を育てることを目的としています。本年度よりコロナ禍が明けての開催方法としてハイブリッド方式を導入しつつ、以下の内容にて開催をいたしました。

開催日	開催内容	会場
第 32 回 6 月 16 日	『ヘルスケア政策の現状と今後の方向性』 経済産業省商務・サービスグループヘルスケア産業課 課長 橋本 泰輔 氏	オンライン
第 33 回 12 月 18 日	『社会保障から見た終末期医療のあり方と安楽死という国民的選択』 医師、医学博士、作家、日本尊厳死協会副理事長 長尾クリニック院長 長尾和宏氏	ハイブリッド 東京連合会

(7)基礎知識研修会

2023年度の基礎知識研修会は事務長を対象にした事務長ネットワークの会を2回、一般職員を対象にした事例紹介などを2回開催いたしました。事務長ネットワークの会では、終了後に親睦を深めていただく、意見交換会を開催いたしました。

開催日	開催内容	会場
第1回 4月21日	『保険者インセンティブの獲得事例を通して保健事業の進め方のポイントを学ぶ』 後期高齢者支援金の減算対象になった事例紹介 (日本事務器健康保険組合・ファイザー健康保険組合) ※一般職員対象	オンライン
第2回 9月22日	『他健保の事務長に聞いてみたいこと』 事前アンケートの結果から、「データヘルス」、「コラボヘルス」、「帳票類の電子化」でグループに分かれたフリーディスカッション ※事務長対象(事務長ネットワークの会)	東京連合会
第3回 10月27日	『健保として押さえておきたい感染症予防・予防接種の基礎知識』 ① ワクチンで予防できる疾患やワクチンに関する基礎知識の紹介 ② 予防接種費用補助の事例紹介 (グラクソ・スミスクライン健康保険組合・ファイザー健康保険組合) ※一般職員対象	オンライン
第4回 3月12日	『マイナンバー・保険証廃止について』 事前アンケートの結果を踏まえ、グループ(基幹業務システムベンダー&被保険者数の規模ごと)に分かれたフリーディスカッション ※事務長対象(事務長ネットワークの会)	ハイブリッド 東京連合会

(8)常務理事ゼミナール

常務理事が研鑽を積む場、人的なネットワークを構築する場、そして自由な意見交換が行う場として、開催いたしました。新型コロナウイルス感染症の影響でオンラインでの開催としていましたが、コロナ禍が明け、また加入組合が東京以外にも広がっていることを踏まえ、対面とオンラインのハイブリッド方式で2回開催しました。

開催日	開催テーマ	会場
第1回 9月20日	『健保の課題解決のための保健事業』 保健事業について課題抽出、実施方法の選択の事例紹介	ハイブリッド 東京大学 伊藤国際学術 研究センター
第2回 1月19日	『健康保険組合における個人情報保護について』 東京大学未来ビジョン研究センターデータヘルス研究ユニット 特任准教授 井出博生 氏 個人情報の取り扱いに関する個別対応事例紹介	ハイブリッド 東京大学 伊藤国際学術 研究センター

(9)その他のシンポジウム、研修会、発表会、など

開催日	行事名	会場
6月22日	2022年度研究会活動報告会	ハイブリッド 星陵会館

開催日	行事名	会場
1月9日	シニアの健康研究会主催 健康保険組合連合会本部特別講演会 『全世代型社会保障構築と健保連の取り組み』 健康保険組合連合会 政策部 担当部長(医療保険等担当) 春木 匠氏 研究会活動報告 ①「シニアの健康研究会が考える今後の保健事業の方向性」 ②「保険者機能強化のための新たな事業検討の状況」	オンライン
3月21日	2024年度研究会活動計画発表会	ハイブリッド 星陵会館

2. 役員会等に関する事項

開催日	会議名	会場
4月19日	4月正副会長会議	本会事務所
4月24日	2023年度第1回(4月)定例理事会 <決議事項> ・第32回医療保険制度ゼミナール開催の件 ・研究会への学識経験者・外部事業者継続参加の件 ・2023年度第2回(6月)定例理事会開催の件	オンライン
5月30日	5月正副会長会議	本会事務所
6月5日	6月正副会長会議	オンライン
6月5日	2023年度第2回(6月)定例理事会 <決議事項> ・第26回定時社員総会招集通知の件 ・2022年度事業報告の件 ・第26回定時社員総会第1号議案(第13期計算書類の件)の件 ・第26回定時社員総会第2号議案(理事補充選任の件)の件 ・第26回定時社員総会第3号議案(会長選任の件)の件 ・第26回定時社員総会第4号議案(副会長補充選任の件)の件 ・第26回定時社員総会第5号議案(監事補充選任の件)の件 ・大塚製薬健康保険組合入会の件 ・研究会への学識経験者・外部事業者参加の件 ・特別顧問の委嘱の件 ・2023年度第2回および第3回基礎知識研修会の開催の件 ・2023年度第3回(9月)定例理事会開催の件	オンライン
6月22日	第26回定時社員総会 <報告事項> ・第13期(2022年度)事業報告の件 ・監事の監査結果報告の件 <決議事項> ・第13期(2022年度)計算書類の件 ・理事補充選任の件 ・会長選任の件 ・副会長補充選任の件 ・監事補充選任の件	ハイブリッド 星陵会館

開催日	会議名	会場
7月10日	2023年度第1回臨時理事会 ・事務局新規事務職員1名増員 業務委託契約にて採用の件	オンライン
7月10日	7月正副会長会議	本会事務所
8月7日	8月正副会長会議	本会事務所
9月5日	9月正副会長会議	本会事務所
9月11日	2023年度第3回(9月)定例理事会 ＜決議事項＞ ・臨時社員総会(書面決議)実施の件 ・第33回医療保険制度ゼミナールの開催の件 ・関西(西日本)地区担当理事についての件 ・リアルリモート配信業務の業務委託契約についての件 ・たばこ対策研究会の会計の件 ・法人カード導入に伴う経理規程一部変更の件 ・2023年度第4回(11月)定例理事会開催の件	C&Rグループ 健保会議室
9月27日	第1回臨時社員総会(書面決議) ・代表理事の補充選任の件	-
10月16日	10月正副会長会議	本会事務所
10月24日	理事会(書面決議) 新入会健保承認の件	-
11月8日	11月正副会長会議	本会事務所
11月13日	2023年度第4回(11月)定例理事会 ＜決議事項＞ ・2023年度中間決算承認の件 ・推進する会の「Facebook」「X(旧 Twitter)」のアカウント閉鎖およびそれに伴う活動運営規程の変更の件 ・事業企画委員会についての件 ・第28回(2024年度)定時社員総会および研究会活動報告会日程の件 ・第12回(2024年度)保険者機能全国大会開催の件 ・2023年度 第5回(1月)定例理事会開催の件	C&Rグループ 健保会議室
12月11日	12月正副会長会議	本会事務所
1月11日	1月正副会長会議	本会事務所
1月15日	2023年度第5回(1月)定例理事会 ＜決議事項＞ ・2023年度第4回基礎知識研修会の開催の件 ・第34回医療保険制度ゼミナールの開催の件 ・2024年度 事業方針の件 ・2024年度 研究会活動及び2024年度設置研究会の件 ・2024年度 医療保険制度ゼミナールの件 ・2024年度 基礎知識研修会の件 ・2024年度 常務理事ゼミナールの件 ・第12回保険者機能推進全国大会開催方針の件 ・2024年度 事業企画委員会の件 ・2024年度 予算案の件 ・2024年度 事務所休業期間の件 ・2023年度第6回(3月)定例理事会開催の件	三菱電機健保
2月13日	2月正副会長会議	本会事務所

開催日	会議名	会場
3月4日	3月正副会長会議	本会事務所
3月7日	2023年度第6回(3月)定例理事会 <決議事項> ・第27回定時社員総会議案 第1号議案(2024年度事業計画案の件)の件 第2号議案(2024年度収支予算案の件)の件 ・新入会員承認の件 ・第29回定時社員総会開催の件 ・2024年度第1回(4月)定例理事会開催の件	ハイブリッド 本会事務所
3月21日	第27回定時社員総会 <決議事項> ・2024年度事業計画案承認の件 ・2024年度収支予算案承認の件	ハイブリッド 星陵会館

3. 重要な契約に関する事項

契約先	契約内容	契約金額	契約期間
大竹リース株式会社	事務所賃貸借契約	月額 237,500 円	2019.10.01 から 2024.03.31 まで
リコーリース株式会社	カラー複合機リース契約	月額 15,700 円	2022.08.01 から 2027.07.31 まで
	電話機リース契約	月額 5,200 円	2020.10.01 から 2026.09.30 まで
	フォーティゲート契約	月額 9,800 円	2020.02.01 から 2025.01.31 まで
	LAN フォルダ契約	月額 6,500 円	2022.02.01 から 2027.01.31 まで
リコージャパン株式会社	BBパック契約	月額 2,800 円	使用開始日 2024.03.31 まで
	リコーひかり契約	月額 500 円	2016.08.01 から 2024.03.31 まで
	Microsoft365	月額 900 円	2023.03.17 から 2024.01.31 まで
	Microsoft365	月額 1,800 円	2024.02.01 から 2024.03.31 まで
株式会社法研	業務委託基本契約書覚書	-	2015.10.01 から 2024.03.31 まで
	レンタルサーバ・サービス契約	年額 500,000 円	2020.04.01 から 2024.03.31 まで
	ウェブサイト保守契約	年額 240,000 円	2017.04.01 から 2024.03.31 まで
	メールサーバ・サービス契約	年額 16,000 円	2019.04.01 から 2024.03.31 まで
株式会社大塚商会	どこでもキャビネット	月額 20,000 円	2018.07.01 から 2024.03.31 まで
三井住友カード株式会社	ビジネスパーチェシング	-	2023.09.06 から 2028.08.31 まで
福田 和宜	リアルリモート配信契約覚書	-	2023.09.01 から 2024.03.31 まで
ソフトバンク株式会社	Zoom ミーティング (プロ) 7 契約	月額 17,360 円	2020.11.01 から 2024.10.31 まで
	大規模ミーティング 500(オプション)	月額 5,980 円	2021.06.01 から 2024.05.31 まで
	iPad リース 5 台	月額 25,120 円	2022.11.01 から 2023.11.30 まで
	iPad リース 1 台	月額 4,978 円	2023.12.01 から 2024.10.31 まで
	ウェビナー500	月額 9,800 円	2022.06.01 から 2024.05.31 まで

注1) 契約金額には消費税を含んでおりません。

注2) 事務局の業務委託費は含んでおりません。

4. 財産状態及び正味財産増減の状況並びに収支の推移

(単位:千円)

区 分	第 10 期 2019 年度	第 11 期 2020 年度	第 12 期 2021 年度	第 13 期 2022 年度	第 14 期 2023 年度
資産合計	9,312	13,825	15,014	17,347	17,361
負債合計	161	110	110	305	122
正味財産合計	9,151	13,715	14,904	17,042	17,240
経常収益計	19,054	15,690	12,433	15,780	17,507
経常費用計	16,929	11,057	11,174	13,572	17,239
当期一般正味財産増減額	2,055	4,564	1,189	2,138	198
前期繰越収支差額	5,560	7,951	12,515	13,704	15,842
事業活動収入計	19,054	15,690	12,433	15,780	17,507
事業活動支出計	16,592	11,057	11,174	13,572	17,239
当期収支差額	2,392	4,564	1,189	2,138	198
次期繰越収支差額	7,951	12,515	13,704	15,842	16,040

Ⅲ 決算期後に生じた本会の状況に関する重要な事実

特にありません。

2023年度
計 算 書 類

自 2023年 4月 1日
至 2024年 3月31日

一般社団法人 保険者機能を推進する会

貸借対照表

2024年3月31日現在

(単位:円)

科 目	2023年度	2022年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	16,161,328	16,147,080	14,248
流動資産合計	16,161,328	16,147,080	14,248
2. 固定資産			
無形固定資産			
ソフトウェア	0	0	0
その他投資等			
事務所保証金	1,200,000	1,200,000	0
固定資産合計	1,200,000	1,200,000	0
資産合計	17,361,328	17,347,080	14,248
II 負債の部			
流動負債			
未払金	0	195,030	△ 195,030
未払法人税等	70,000	70,000	0
預り金	51,710	39,960	11,750
流動負債合計	121,710	304,990	△ 183,280
負債合計	121,710	304,990	△ 183,280
III 正味財産の部			
一般正味財産			
正味財産合計	17,239,618	17,042,090	197,528
負債及び正味財産合計	17,361,328	17,347,080	14,248

正味財産増減計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位:円)

科 目	2023年度	2022年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益			
受取会費	15,985,000	15,744,000	241,000
受取一般事業収入	1,521,500	36,000	1,485,500
受取雑収入	299	274	25
事業収益計	17,506,799	15,780,274	1,726,525
経常収益計	17,506,799	15,780,274	1,726,525
(2) 経常費用			
事業活動費			
総会費	1,622,399	1,151,720	470,679
事業費	3,565,114	2,126,007	1,439,107
事業活動費計	5,187,513	3,277,727	1,909,786
管理費			
業務委託費	4,773,740	3,589,371	1,184,369
システム管理費	1,658,192	1,601,644	56,548
システム改善費	0	113,300	△ 113,300
会議費	18,960	0	18,960
交通費	40,638	3,268	37,370
通信運搬費	182,537	166,941	15,596
事務費	815,075	356,106	458,969
印刷費	137,224	85,266	51,958
水道光熱費	417,147	343,700	73,447
レンタル費	675,569	750,066	△ 74,497
事務所家賃	3,135,000	3,135,000	0
減価償却費	0	0	0
租税公課	23,500	42,850	△ 19,350
雑費	174,176	107,178	66,998
管理費計	12,051,758	10,294,690	1,757,068
経常費用計	17,239,271	13,572,417	3,666,854
当期経常増減額	267,528	2,207,857	△ 1,940,329
税引前当期一般正味財産増減額	267,528	2,207,857	
法人税等	70,000	70,000	
当期一般正味財産増減額	197,528	2,137,857	△ 1,940,329
一般正味財産期首残高	17,042,090	14,904,233	2,137,857
一般正味財産期末残高	17,239,618	17,042,090	197,528
II 正味財産期末残高	17,239,618	17,042,090	197,528

正味財産増減計算書は企業会計における「損益計算書」に相当する。

財 産 目 録

2024年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産) 現金預金	現金	手元保管	運転資金として	55,890
	預金	三菱UFJ銀行神田駅前支店 普通預金 定期預金	運転資金として 10,105,438 6,000,000	16,105,438
流動資産合計				16,161,328
(固定資産) 無形固定資産	ソフトウェア	㈱法研への外注で作成したHP	ソフトウェア取得価額 減価償却額累計 当期減価償却額 当期末残高	1,684,800 △ 1,684,800 0 0
	その他固定資産	事務所保証金 大竹リース㈱に対するもの	保険者機能を推進する会の事務所(東京都千代田区神田北乗物町11番地 乗物町第一ビル4階) 賃借保証金として	1,200,000
固定資産合計				1,200,000
資産合計				17,361,328
(流動負債)	未払法人税等	千代田都税事務所に対するもの	法人住民税均等割	70,000
	預り金	神田税務署に対するもの	事務局の源泉徴収税分	51,710
流動負債合計				121,710
負債合計				121,710
正味財産				17,239,618

財務諸表に関する注記

1. 重要な会計方針

- (1)リース取引
リース契約 1件当たりのリース料総額が 300万円以下のリース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっている。
- (2)消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理については、税込経理方式によっている。
- (3)ソフトウェアの減価償却
ソフトウェアは5年均等償却としている。

2. 会計方針の変更

該当なし。

3. 関連当事者との取引の内容

該当なし。

4. 重要な後発事象

該当なし。

収支計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位:円)

科 目	2023年度 決 算 額	2023年度 予 算 額	差 異	2022年度 決 算 額	備 考
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
(1) 会費収入	15,985,000	15,910,000	75,000	15,744,000	
(2) 一般事業収入			0		
臨時会費(総会)	504,000	480,000	24,000	0	
臨時会費(事業)	1,017,500	750,000	267,500	36,000	
(3) 雑収入	299		299	274	
事業活動収入計	17,506,799	17,140,000	366,799	15,780,274	
2. 事業活動支出					
(1) 一般事業費支出					
総会費支出	1,622,399	2,050,000	△ 427,601	1,151,720	
事業費支出	3,565,114	4,800,000	△ 1,234,886	2,126,007	986,260円を管理費より振替
一般事業費支出計	5,187,513	6,850,000	△ 1,662,487	3,277,727	
(2) 管理費支出					
業務委託費	4,773,740	5,460,000	△ 686,260	3,589,371	986,260円を事業費へ振替
システム管理費支出	1,658,192	1,760,000	△ 101,808	1,601,644	
システム改善費支出	0	170,000	△ 170,000	113,300	
会議費支出	18,960	100,000	△ 81,040	0	
交通費支出	40,638	20,000	20,638	3,268	
通信運搬費支出	182,537	220,000	△ 37,463	166,941	
事務費支出	815,075	690,000	125,075	356,106	
印刷費支出	137,224	120,000	17,224	85,266	
水道光熱費支出	417,147	432,000	△ 14,853	343,700	
レンタル費支出	675,569	700,000	△ 24,431	750,066	
事務所家賃支出	3,135,000	3,135,000	0	3,135,000	
租税公課支出	23,500	50,000	△ 26,500	42,850	
雑費支出	174,176	150,000	24,176	107,178	
管理費支出計	12,051,758	13,007,000	△ 955,242	10,294,690	
事業活動支出計	17,239,271	19,857,000	△ 2,617,729	13,572,417	
事業活動収支差額	267,528	△ 2,717,000	△ 2,984,528	2,207,857	
II 予備費支出	0	1,000,000	△ 1,000,000	0	
III 法人税等支出	70,000	70,000	0	70,000	70,000円未払計上
当期収支差額	197,528	△ 3,787,000	△ 3,984,528	2,137,857	
前期繰越収支差額	15,842,090	15,842,090	0	13,704,233	
次期繰越収支差額	16,039,618	12,055,090	△ 3,984,528	15,842,090	

収支計算書に関する注記

1. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	当期末残高	前期末残高	差 異
現金預金	16,161,328	16,147,080	14,248
合 計	16,161,328	16,147,080	14,248
未払金	-	195,030	△ 195,030
未払法人税等	70,000	70,000	0
預り金	51,710	39,960	11,750
合 計	121,710	304,990	△ 183,280
次期繰越収支差額	16,039,618	15,842,090	197,528

2. 科目間の流用及び予備費の使用

(1) 科目間の流用

(単位：円)

科 目	予 算 額	科目間流用額	流用後予算額	備 考
管理費－事業費	4,800,000	△ 187,113	4,612,887	旅費交通費支出へ流用 20,638
				事務費支出へ流用 125,075
				印刷費支出へ流用 17,224
				雑費支出へ流用 24,176
管理費－旅費交通費支出	20,000	20,638	40,638	事業費より流用 20,638
管理費－事務費支出	690,000	125,075	815,075	事業費より流用 125,075
管理費－印刷費支出	120,000	17,224	137,224	事業費より流用 17,224
管理費－雑費支出	150,000	24,176	174,176	事業費より流用 24,176
差 引	5,780,000	0	5,780,000	

(2) 予備費の使用

該当なし。

監査報告書

2023年4月1日から2024年3月31日までの第14期事業年度における理事の職務の執行の状況、本会の業務並びに資産及び会計の状況を監査いたしました結果、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び事務局と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席して理事及び事務局から職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、正副会長会議資料などの重要な書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、当該事業年度に係る事業報告について検討した。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類等について検討した。

2 監査の結果

- (1) 事業報告は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 計算書類等は、当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しています。

2024年5月22日

一般社団法人保険者機能を推進する会

監 事 大 貫 益 枝